

JAくしろおおた

2026
令和8年

3

No.100



INDEX

- 『あっけし極みるく65』が
北のハイグレード食品2026に選定 2
- 北海道指導農業士・北海道農業士への仲間入り .. 4
- 遠藤浩一氏 北海道知事より感謝状を授与 4
- 釧路太田広報誌100号記念 6
- JAトピックス 8
- 青年部通信 11
- 営農ホットライン 12
- みんなの広場 13
- JAインフォメーション 14

あっけし
極みるく65が
北のハイグレード
食品2026に
選定されたミルク!



釧路太田農業協同組合



←JA 釧路太田オフィシャルウェブサイト
www.ja-kushirooota.or.jp/

ja 釧路太田





北のハイグレード食品とは、道内で製造された加工食品を対象に、「優れた食味」「高い品質管理」「強い消費者訴求力」を備えた商品として選定するものです。北海道食のサポーター等が選考し、道内の加工食品のトップブランドとして選定するものです。

今回は109の応募があり、食のサポーター等により事前審査を行い通過後に本審査としてプレゼ

令和8年2月12日に、北のハイグレード食品2026の審査において「あつけし極みるく65」が見事選定されました。



ンをし、その結果24商品が北のハイグレード食品2026として選定され、極みるく65もそのひとつとして選んでいただきました。

審査員の方からは、「サラッと
していて飲みやすい」「味わいも
クリーミーでとてもおいしい」
「パッケージもユニークで価格も
リーズナブル」など高い評価をい
ただきました。



「北のハイグレード食品2026」発表セレモニー



ジャパンフードセレクションングランプリ受賞に続きこのような賞をいただく事ができたのも、現在までの生産者の皆様の日頃の努力やたくさんの方に飲み続けていただいているお陰だと思っております。今後も極みるく65のおいしさを届けていけるよう、安心・安全を第一に努めて参りますので、今後とも極みるく65をよろしくお願いたします。

齋藤組合長

この度は、北のハイグレード食品2026に選定していただき、大変光栄に思っております。これからも極みるく65をたくさんの方に飲んで頂きたいと思っておりますので、この賞に恥じぬようこれからもよりよい商品造りに努めていきたいと思っております。

【イベント参加】 ソフトクリームマルシェ

乳製品加工企画室では、全国各地の百貨店で開催されている「ソフトクリームマルシェ」にあけし極みるくソフトクリームを出品

しています。

ソフトクリームマルシェでは、北海道の各地のソフトクリームを食べる事ができ、1月は丸井今井札幌、2月は東武百貨店船橋店に出品しましたが、ご好評をいただき多くの方に味わっていただきました。また極みるく65も販売しましたが、大変人気で即日完売となりました。

今後は3月に開催する天満屋岡山本店での大北海道展、4月には大阪阪急百貨店うめだ本店での北海道物産店、柏高島屋・なんば高島屋のソフトクリームマルシェにも出品予定となっております。

今後も様々なイベントに出品していきながら、多くの方においしさを伝えていきたいです。



令和7年度
北海道指導農業士・北海道農業士称号贈呈式



北海道指導農業士・ 北海道農業士への仲間入り！



北海道農業士
八木友明氏



北海道指導農業士
米澤佳洋氏

北海道指導農業士協会 特別会員に対する 知事感謝状を授与

北海道指導農業士 遠藤浩一氏



令和8年2月16日(月)に札幌市にある共済ホールで開催された令和7年度北海道指導農業士・北海道農業士称号贈呈式において、指導農業士協会の特別会員である遠藤浩一氏が、指導農業士として地域の担い手育成、指導に尽力されるなど北海道農業の発展に寄与されたことに伴い、北海道指導農業士協会からの推薦により、北海

令和8年2月16日(月)に札幌市にある共済ホールで開催された令和7年度北海道指導農業士・北海道農業士称号贈呈式において、指導農業士として「米澤佳洋氏」が、農業士として「八木友明氏」が厚岸町の推薦により、北海道知事からそれぞれ認定を受けました。

令和7年度、新規の指導農業士認定者は69名(全道・1,327名)、農業士認定は73名(全道・2,177名)となっており、それぞれ、北海道知事より称号が贈呈されました。

米澤佳洋氏は、釧路太田地区担い手確保推進協議会会長及び厚岸町農業担い手育成支援協議会委員として、地域の研修生や新規就農者など農業の担い手に対する助言を行っており、地域や酪農業界への担い手定着に向け、研修生の受け入れを積極的に行いたいとの事でありました。

また、新規就農希望者が研修をする際、酪農の魅力・地域の魅力を伝え、未来の担い手確保につなげていくため、新規就農者や若手酪農家の相談役となり、地域に根付いた酪農経営を實踐できるように率先してアドバイスを行っていきたいとの事です。

尚、JA釧路太田理事、釧路東部地区指導農業士農業士会事務局長としてもご活躍されています。

八木友明氏は、JA釧路太田で初めての新規参入者として、今後就農を目指す方や若手新規就農者の手本となり、研修生受け入れや助言を行っており、厚岸町乳牛検定組合等の役員を担うなど、地域農業の振興に率先して参画しております。

また、新規就農希望者の研修受け入れを実施

しており、飼養管理技術の指導とともに、地域農業の担い手育成に努めております。

この度は、北海道指導農業士・北海道農業士としてのご認定おめでとうございます。これからのご活躍に期待をしております。

●北海道指導農業士の認定要件と役割

現に農業に従事しているおおむね40歳以上の者で、個人経営にあつては、経営主、又はその配偶者等、法人経営にあつては、構成員として農業経営を主体的に担っている者で、高度な生産技術力、経営・生活管理能力を有し、次代の担い手育成に強い熱意と指導性を有するとともに、地域農業の振興や農村生活の向上に対する貢献度及び社会的信頼が高い農業者が認定要件となります。

また、担い手になるうとする者の研修受入、指導・助言を行い、道、市町村、農協等が行う担い手育成・確保に関すること、地域農業の振興、農村生活の向上に関することへの協力等の役割を担っております。

●北海道農業士の認定要件と役割

道や市町村、農協などの関係機関団体等や農業者自らが企画する研修会に積極的に参画するなど資質向上への意欲が高く、現に農業に5年以上従事している原則30歳以上の者で、経営改善に積極的に取り組むとともに、青少年活動等、地域活動に率先して参加活動している農業者が認定要件となります。

また、実践的な研修を通じて、新規就農者や青年農業者等に対する助言、農業経営の改善や地域農業の振興・農村生活の向上に関する協力、地域リーダーを目指した資質の向上や地域活動への意欲的な取り組みをする等の役割を担っております。

道知事より感謝状を授与されました。

遠藤氏は、平成21年度に北海道指導農業士に認定され、指導農業士として、農業大学校生の研修受入、北海道指導農業士・農業士釧路地区連絡会議副会長等の役員を務めるなど、地域の担い手育成・確保に尽力されました。

また、太田草地利用組合組合長および厚岸町農業委員会会長を務めるなど、地域の生産基盤強化に対し貢献するとともに、厚岸町後継者対策協議会のメンバーとして農村後継者対策を推進するなど、地域

農業の発展に多大な貢献をされました。

長年のご活躍に敬意を表するとともに、今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。

このたびは、誠にありがとうございます。



●北海道知事感謝状授与とは

北海道指導農業士協会の会員が満65歳となり特別会員に移行した場合、会員の長年の功労に報いる為、協会の役員経験者又は運営並びに農村青少年の育成指導に著しい功績があった者に対する知事感謝状の授与を、協会が北海道知事に推薦し感謝状が授与されるものです。

釧路太田広報誌100号記念

「私たちが刻んだ100ヶ月の鼓動」

100号に寄せて

2017年、当時の河村前組合長の「組合員の声をもっと近くに届けたい。」「釧路管内では、当農協だけが広報誌を発行していない。」という、熱い思いからスタートした『JAくしろおおた』の広報誌!!

これまでの8年間、右も左もわからぬまま、シャッターを切るたびに積み重ねた「釧路太田の日常」は、今やかけがえのない宝物です。

カメラ片手に畑を走り回り、締め切りに追われ、時には誤字・脱字に冷や汗をかき……。皆様の温かい「読んでよ!」の声に支えられ、ついに100号という大きな節目を迎えることができました!

夢が形になった

100ヶ月

太田の大地に根付く、「新しい力」

「右も左もわからない」と笑っていた新規就農者の若者が、今では太田の先人たちや、後継者たちに背中を見せる立派な経営者へ。ひと家族の熱い情熱が、100ヶ月の月日を経て、優秀な酪農家になりました!



挑み続けた。「極」の軌跡

自分たちの生乳を、本来のおいしい味をそのままに消費者に届けたい!!との思いから、試行錯誤の末に生まれた『極みるく』は、今や地域の誇りとなり、北海道のブランドにも選ばれました。釧路太田農協の誇りとなったこの1杯は、酪農家を始め携わるすべての人々の情熱の極みがあります!

春の播種から牧草収穫、秋のデントコーンの収穫まで、広報のカメラは、皆さんの「現場」を追いかけました。「あの年の大雨や、干ばつ、台風被害などでも、関係者の一致団結により、良質な粗飼料を収穫することができました。大型機械の進化は日々進歩しますが、ハンドルを握る。皆さんの眼差しは100号経っても変わらず熱いままで。

共に笑い、共に汗した記憶



【2020年11月】
きわみるくん採用



ジャパン・フード・セレクション
2年連続グランプリ受賞

【2025年7月】あつけし極みるくあいす
【2024年3月】あつけし極みるく65



北のハイグレード食品
2026選定

【2026年2月】あつけし極みるく65



グラウンドで白球を追った野球大会や、組合員同士、楽しく会話を交わし、マイクを離さず歌った親睦旅行。広報誌が追いかけてきたのは、「仕事以外の名場面絆を深めた遊びの記憶も、皆様の「生きがい」そのものでした。

100号の感謝を込めて

「広報誌なんて、誰が読むんだろう?」そんな声から始まったこの100ヶ月。

気づけば、カメラを向けると「おっ、また載せてくれるのか?」と照れながら笑ってくれる組合員皆様の姿がありました。

この100号分に並んだ写真は、単なる記録ではありません。

釧路太田という場所で、私たちが共に生き、悩み、笑い飛ばしてきた「生きた証」そのものです。

牛の鳴き声、トラクターの音、収穫した牧草の匂い、組合員たちの話し声……。

紙面からそんな「太田の日常」が飛び出して来るような、そんな広報誌の発行をこれからも続けて参ります。

100号は通過点。でも、大切な節目です。

これからも私たちは、地域の皆様方の日常にある「小さな幸せ」や「熱い想い」を見逃さず、シャッターを切り続けます。

「101号からも、あなたの笑顔を狙い撃ちさせてください。」

これからも、共に歩いていきましょう。次は200号で今の写真を見て笑い合いましょ。

広報編集部一同

第1号〜100号の
バックナンバーはこちら





太田草地利用組合 第52回通常総会 開催

令和8年1月31日(土)に、太田地区活性化施設らくとぴあにて太田草地利用組合の第52回通常総会が開催されました。

総会にあたり齋藤組合長よりごあいさつをいただき、議長は河村公貴氏が務められ、事業報告並びに事業計画などの議案について出席組合員より様々な意見が交わされ、満場一致で可決承認されました。

総会終了後は懇親会が開催され、組合員同士の親睦を深めるとともに組合員数の減少やなどの今後の草地管理の在り方などについて活発な意見交換を行い、盛会裏に終了いたしました。また、齋藤組合長が諸事情により代表理事を退任されることに伴い、現役員より滝川洋志理事が代表理事に選出されました。



釧路太田集落臨時総会 開催

令和8年2月4日(水)釧路太田集落臨時総会が、太田活性化施設らくとぴあにて開催されました。

今年度から第6期対策が始まり、協定面積が確定しましたので、臨時総会が開催されました。

開会にあたり大野尋人委員長が挨拶され、来賓には厚岸町役場水産農政課 石崎課長、釧路農業改良普及センター東部支所 田口支所長、釧路太田農業協同組合 齋藤組合長をお招きし、代表して齋藤組合長よりご祝辞を頂きました。

第6期対策は5年間での取り組み

みとなります。運用方針を適切に実行するとともに集落協定の目標達成に向けて取り組んで参りますので、共同取組活動等の集落活動への御協力を宜しくお願い申し上げます。

【総会議案】

- 議案第1号 令和7年度 事業計画及び収支予算について 全員賛成で可決
- 議案第2号 第6期対策 5か年計画について 全員賛成で可決





釧路管内JA役職員連盟 ボーリング大会が開催

令和8年1月24日(土)、釧路管内JA役職員及び関係機関を対象とした、ボーリング大会が釧路パレスボウルにて開催されました。4人1組の18チームによる対抗戦が行われました。

JA釧路太田からは3チーム参加し、団体優勝を目指しましたが、惜しくも入賞することはできませんでしたが、個人賞として、澤口優佳氏が令和8年賞で女性8位を受賞することができました。

各JAや関係団体と交流を深めることが出来て、とても盛り上がった大会となりました。

来年は団体優勝、個人優勝とダブル受賞を目指し頑張りたいと思います。

コンプライアンス 研修会



令和8年1月26日(月)の業務終了後に農協会議室にて職員向けコンプライアンス研修会を開催しました。

毎年行われているこの研修では、北海道中央会根釧支所様から講師をお招きし、コンプライアンスの意識を組織内に浸透させることを目的に行っております。

前半は不祥事防止として不祥事の定義や不祥事発生のリスクの内容及び対策について動画を視聴しながら研修を行いました。

後半はコンプライアンス事故防止や情報漏洩や個人情報流出について最新の事例を交えながら説明を頂き、最後に意見交換を行いました。

今回の研修を通して、業務中のコンプライアンス意識を高めると共に、職員として身が引き締まる研修会となりました。



太田老人クラブ新年顔合わせ会

令和8年1月27日(火)に太田活性化施設らくとびあにおいて「太田老人クラブ新年顔合わせの会」が行われました。

こうして会員さんが集うのは、なんと昨年の総会以来のことでした。

農協花壇の草刈作業やゲートポールで顔を合わせる方々もおられました。このような会は、久々の催しでした。

この日は15人の会員さんが集まり、新年の挨拶や皆さんの近況にぎやかに会話されているのが印象的でした。

また、「厚岸町保健福祉総合センターあみか21」の石川保健師さんに「認知症予防講座」を実施していただきました。1時間程度の講演に皆さんとても興味深い面持ちで参加されておりました。澤口会長はじめ、皆さんが、次回の講演が楽しみ！今後の定例会にも大いに講演していただきたい！とおっしゃっております。

今年も、会員の皆様のご多幸ご健勝を心よりお祈り申し上げます。



第63回 尾幌長生会定期総会

令和8年1月31日(土)に尾幌酪農ふれあい館で、尾幌長生会の定期総会が会員12名出席のもと開催されました。

総会においては、佐藤自治会長をお招きし、開会のご挨拶を高橋司次会長に頂き、上程した全議案について、満場一致で承認されました。

総会終了後には懇親会が開催され、たくさんのご馳走がテーブルの上に並びました。久々に顔をあわせた事もあり、年末年始の出来事等、色々な話題で大いに盛り上がっております。本年も会員皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。





青年部新年会

令和8年1月29日(木)午後7時30分より、青年部新年会を開催しました。

当日は多くの部員が参加し、新年の門出を祝いながら親睦を深めました。

開会にあたり、部長からは昨年の活動を振り返り、各種事業や地域行事への協力など、青年部として取り組んできた活動への感謝が述べられ、本年も部員同士が力を合わせ、地域農業の発展に努めていきたいとのあいさつがありました。

懇親の時間には、営農の近況や日頃の出来事について会話が弾み、終始和やかな雰囲気の中で交流が行われました。今回の新年会は、青年部の結束をあらためて確認する有意義なひとときとなりました。本年も青年部活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



新規従業員の受け入れに向けた搾乳動画の配信、提供について

新規従業員の受け入れにあたって、従業員の早期の成長はどの牧場も望むところですが、ゆっくり教えてあげる時間を確保しづらいのも実情ではないでしょうか？

そのため、このたびホクレン営農支援部門にて新規従業員の搾乳手順習得を補助するための限定YouTubeの動画を作成しました。(撮影場所：ホクレン訓子府実証農場)

動画には手順だけでなく、それぞれの工程の目的も示されているので、初心者にもわかりやすい内容になっていますので、新規従業員の受け入れの際の一助としてご活用願います。

二次元コード



URL <https://youtu.be/PNU36FMR-Hg>



URL <https://youtu.be/-PfZnhllBaM>

インターネットの通信環境の良くない地域の方のために動画データの提供もできますので、農協営農振興課までお申し付けください。

寒い時期こそ換気を大切に

冬期は、牛の寒冷対策や牛舎施設の凍結防止のため、換気扇や送風機を稼働停止したり、窓や扉を閉め切ることが増えます。牛舎内の換気不良は結露やカビの発生、肺炎や採食量の低下につながることから、冬場こそしっかりと換気を行い、牛舎内の環境を清潔に保ちましょう。

1. 換気不良が与える影響

牛舎内の換気が不十分だと、牛から排出される二酸化炭素やアンモニア、水分などが牛舎内にとどまり、肺炎などの呼吸器の疾患を招くほか、採食量が低下し、乳量の低下を引き起こします。また、同時に結露が発生し、カビや腐食、サビなどの原因になるなど、牛だけではなく牛舎の建物自体にも悪影響を及ぼします。

そのため、日中の温かい時間や天気の良い日は、水道等が凍結しない範囲であれば窓や扉の開放を行い、換気扇などと合わせて積極的に換気を行いましょう。

乳牛の寒さに対する耐性は生育ステージによって大きく異なりますが(表1)、泌乳牛では-15℃程度までは生産性に影響を与えないと言われています。

表1) 乳牛の耐性温度

※普及センターホームページ参考

新生子牛	子牛	泌乳牛	乾乳・妊娠後期
15℃前後	1~10℃	-15℃	5℃~-10℃

一方で、子牛は発酵熱の発生量が親牛より少なく、寒さに弱いことから、ジャケットやヒーターなどを使用し(写真1)適切な寒冷対策も並行して行った上で換気に努めましょう。

また、隙間風は換気改善に貢献する一方で、直接牛体に当たることで体感温度の低下を引き起こします。特に子牛の飼養スペース付近は、風の流れにも注意が必要です。

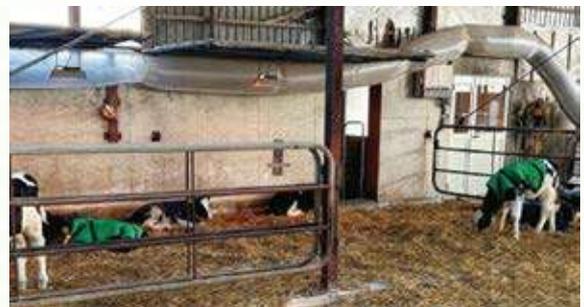


写真1) 子牛の寒冷対策

2. 換気改善の例

牛の鼻先に新鮮な空気を送るため、牛舎の下側に小窓を設置し、採食量の維持を図っている事例です(写真2)。

そのほかにも、指一本分だけ窓を開けることで、牛舎内の換気改善と凍結防止を図った事例や、市販の換気システムを導入し、閉め切っているながらも、十分に換気を行っている事例もあります。

換気対策は牛舎の構造や経営の状況などで求められるものが様々です。ぜひ、自分の牛舎に合った換気改善法を見つけ、冬を乗り切りましょう。



写真2) 牛舎下部に窓を設置した事例

換気を改善して人も牛も快適に冬を乗り切ろう！

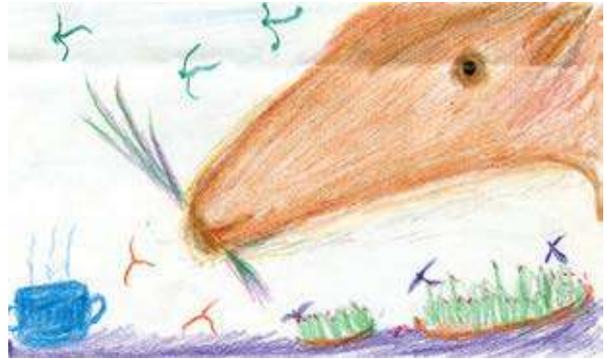
■お問い合わせ先／普及センター東部支所 TEL.0153-65-2021

みんなの広場

コミュニケーション

「財布は小銭で重く重い札はどろぼう狙う」
 「すぐくる誕生日ゆっくり行こうゴールまで」
 「皮まで使いたい気持ちの物価高」
 「仲良く飛びゆくは老い鶴2羽かどこまでも」
 「ちょいおきのゴミの袋カラス散らかす」
 「鳥もびっくり6回転人間だけのすごい技」
 「ミラノの空でより遠くへ競いあうは世界一」
 「しかの群れ道路で動かぬ小じかに見とれ」

ペンネーム／昔のお姉さん



ペンネーム／うさぎ



劇場版「それいけ!アンパンマン とべ!とべ!
 ちびごん/ドキンちゃんのドキドキカレンダー」
 公開35周年

3 / 29 初代ドキンちゃん声優・故鶴ひろみさん
 誕生日です。亡くなって9年経ちますが、もし生
 きてたら66歳になっていたかもしれません。

ペンネーム／猫兄貴

道央方面は大雪で大変そうですね。私達が住む道
 東はチョッピリ助かっています。でもそんなこと
 を言ったらド〜んとデカいのが来たりして…。

ペンネーム／コンサ大好き親父

家族の何気ないひと言がきっかけで川柳を始めて
 ニヶ月。暮らしの感じ方が変わり、迷いながら拾
 う楽しさを覚えています。

「拾うほど 暮らしは光る 塵ひとつ」

ペンネーム／チョコたん

雪かきも ミルクを飲んで ガンバロウ!!
 (コンサ大好き親父)
 断乳の 牛の鳴き声 闇を裂く
 放射冷え 朝日を浴びて 背を伸ばす
 (チョコたん)
 木の实なく 小鳥の姿 見えずとも
 ちらほらと 人影見える 歩道の道
 (うさぎ)
 パーラーへ 牛のマーチで 行進じゃ
 (みかんみかん)



編集後記

いつも広報誌をご覧いただきありがとうございます。

月日が経つのも早く、もう3月になりました。
 どんどん暖かくなっていきますね!(まだまだ
 寒いですが・・・)

さて、農協だよりも平成29年12月に創刊号
 が発刊され、今月号で、記念すべき第100号を
 迎える事となりました。

これも皆様方のご支援・ご協力によるものと
 感謝申し上げます。これからも200号、300号
 と続けてまいりますので、引き続きご愛読のほ
 ど宜しくお願い致します。

編集担当／S.W

春
見
つ
け
ま
し
た。



第12回 理事会報告

日時／令和8年2月20日(金)

報告事項

1. 令和8年2月上旬現在の生乳生産状況及び1月末クミカン取引状況について

	当農協	釧路管内	※前年対比
12月下旬	101.3%	98.9%	
累計	104.1%	102.3%	

2. 令和7年クミカン残高精算について
3. 特定組合員の経営状況について

議決事項

1. 各種貸付金の貸付承認について
2. 令和8年営農計画再協議の承認について
3. 令和8年度内部監査実施計画の策定について
5. 令和7年度経営定期点検実施結果の報告及び令和8年度経営定期点検実施計画の策定について
6. 固定資産の取得について
7. 令和7年度決算見込及び事業分量配当支払基準の設定について
8. 令和8年度事業計画大綱について
9. 新規就農者の受入について
10. 職員の決算手当の支給について

令和8年
(2026年)

3月

行事予定

3 (火)	初生集荷	
9 (月)	一般市場	
10 (火)	初生集荷	
11 (水)	Aマート売出し	
12 (木)	一般市場	
16 (月)	根釧合同JA役職員研修会(中標津)	
17 (火)	青年部牛乳・乳製品消費拡大PR運動(札幌) 初生集荷	
19 (木)	一般市場	
20 (金)	春分の日	
24 (火)	初生集荷	
25 (水)	初生集荷 Aマート売出し	
26 (木)	一般市場	
30 (月)	第1回 理事会	
31 (火)	決算監事監査(～4/2) 初生集荷	

JA綱領

―わたしたちJAがめざすもの―

わたしたちJAの組合員・役員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則(自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等)に基づき行動します。そして地球の視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがい追求しよう。